

質問 学校給食費の無償化を求める

町長

子育て支援全般の中で総合的に研究したい



田食 道弘 議員



楽しい給食の時間も教育の一環

質問 給食は教育の一環であり、憲法の精神にたてば、無償とすべきだ。

県内では吉賀町のみだが、全国的には公立小中学校で83自治体もが無償化している。

保護者の負担額は、子ども2人と年間10〜13万円以上と、大きな負担となっている。

この無償化によって、本町の有力な子育て支援策として、

若者などの定住対策、人口減少対策に大きな効果が期待できる。また給食費集金事務は学校教職員に委託されているが、教

職員の多忙化の大きな一因となっている。この負担解消により、教育活動に専念でき、子ども一人ひ

とりに向き合うことができる。

町長 給食費の保護者負担分は約5、100万円と多額であり、子育て世帯支援策全体の中で、総合

AEDは町内あちこちに

質問 AEDは使用開始が生命を救うために、一刻を争うものであるにも関わらず、設置箇所は連担

地・街部に集中している。例えば消防団各部署格納庫や自治会集会所など、町内のあちこちに設置すべきだ。

AEDマップの作成や設置箇所の町民への周知、公民館など設置場所の管理者などへの定期的な使用方法、点検管理方法の講習、教育が必要だ。

的に研究していきたい。

教職員の負担が減るといふメリットも見込めるので、教材費なども含めての公会計化なども研究して行く必要がある。

町長 現在、町内の公共施設でAEDを設置しているのは学校、公民館、公園、病院、主要な観光施設等で40台ある。

全ての自治会集会所への設置には、数は必要となるので、当面は既設のAEDを活用いた



AEDは救命のために役立てたい

い。他市町村等の状況調査をしながら検討したい。

多くの方が集まるイベント等では、町体協で貸し出しを行っている。

使用方法、管理方法についてはPTA活動、公民館活動で取り組んでいただいている。消防署においても一般町民等を対象に定期的に研修を実施されている。